

調和のとれた 矢作川流域圏の実現にむけて



矢作川の環境を考える懇談会

このパンフレットは、矢作川の環境を考える懇談会の成果をわかりやすくとりまとめたものです。

矢作川流域圏の課題

東海豪雨を契機として、矢作川の河川環境の保全と整備について、関係者相互が情報を共有するとともに、矢作川流域の管理のあり方や自然環境と調和した川づくりについて意見交換を行い、課題解決に向けた新たな枠組み、今後の取り組みについて議案を行った。

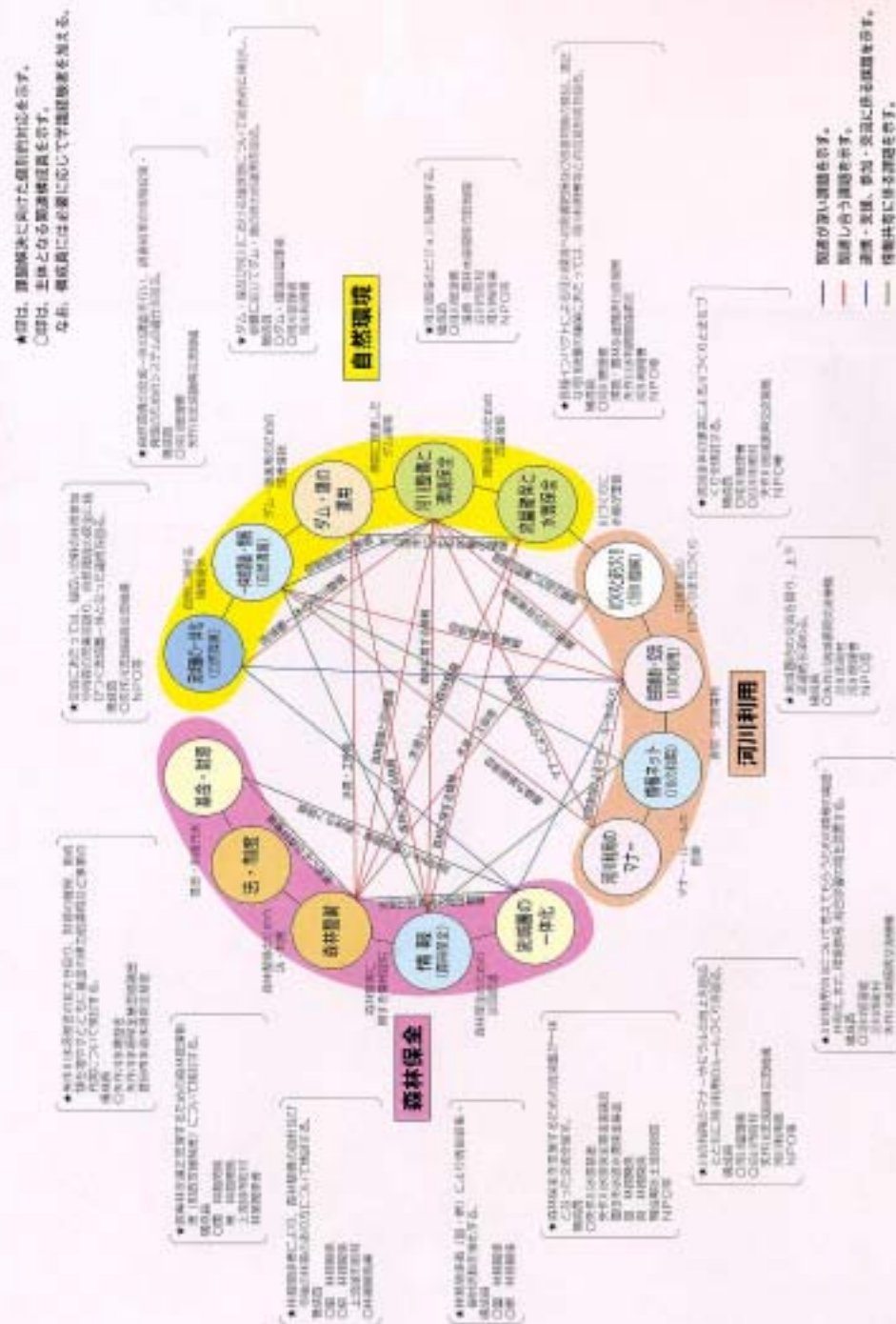
※流域圏とは

流域及び水利用関係や集落を巡り一体的な知識、自然の恵みである水資源、これに関連する森林、農林、畜産等により構成される地域。

懇話会で作られた課題は、森林保全、河川利用、自然環境の3つに分類することができた。

これらの課題の解決にあたっては、個別の課題だけを考えしていくのではなく、矢作川の流域圏全体の視点で議論し、課題解決のための調整を図ることにより、調和のとれた流域圏の実現が可能になると考えられる。

課題解決に向けた対応と関連し合う課題の関係



課題解決のための新たな枠組み

調和のとれた流域圏の実現のためには、流域は一つ、運命共同体という共通認識のもと、矢作川流域圏のあり方を検討していく新たな枠組み流域（圏）懇話会（仮称）の設置が必要である。



調和のとれた流域圏実現に向けた今後の展開

流域圏内で展開される人間の様々な活動等は、矢作川を軸として進められている。このため、調和のとれた流域圏の実現に向け、流域管理という視点を踏まえて、流域圏の軸となる矢作川の河川整備基本方針・整備計画の計画づくりを議論していくことが重要である。



- 調和のとれた流域圏の軸となる矢作川の総合的な河川整備・管理が必要。
- 個別の課題については、関係機関により解決に向け努力する。
- 調和のとれた流域圏の実現のための流域（圏）懇話会を開催する。

空から見た矢作川流域圏



①上村川と水源の山々



②矢作ダムと奥矢作湖周辺



③越戸ダム周辺



④豊田市街地周辺



⑤明治用水頭首工と鶴の首狭窄部



⑥乙川合流点下流



⑦矢作川河口



懇談会の構成

名古屋大学大学院 辻本哲郎教授（座長）
 愛知工業大学 四俣正俊教授
 農林水産省 東海農政局
 林野庁 中部森林管理局名古屋分局
 愛知県・長野県・岐阜県 関係地方出先機関
 市町村／根羽村・串原村・上矢作町・岡崎市・碧南市・豊田市・安城市・西尾市・藤岡町
 小原村・足助町・旭町・稲武町
 関係団体／漁業協同組合（岐阜県・矢作川・岡崎市）
 中部電力㈱
 矢作川沿岸水質保全対策協議会
 国土交通省中部地方整備局・豊橋工事事務所・矢作ダム管理所

国土交通省中部地方整備局 豊橋工事事務所

〒441-8149 豊橋市中野町字平西1-6 TEL (0532) 48-2111 内 FAX (0532) 48-8100
 ホームページ <http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/>